

# -東北応援ツアーレポート-

## テーマ 現地を訪問して思うこと

A)岩手県コース 2016年11月5日(土)~6日(日)

参加者氏名:大石育三

卒業年:1967年 卒業学部:経済学部卒業

昨年参加した福島県コースに引き続き、今年は、岩手県コースに応募しました。お蔭さまで、採択されましたことから、11月5日に東北応援ツアーに参加することが出来ました。

前日は、静岡で仕事があったため、東京に前泊して、朝一番の新幹線で盛岡駅に無事到着できました。しかし、こちらは、冬のような天候でしたので、これからどうなるか気がかりでしたが、遠野市に着く頃は、穏やかな天候となっていました。

今回の一番の見どころは、釜石駅から盛岡駅までの「震災学習列車」に乗ることでした。定刻より4分遅れで13時49分に釜石駅を貸し切り列車として発車しました。この車両は500万バーレルのクウェート国からの支援を受けたとのことでした。今日は、「世界津波の日」であり、三陸駅で一分間の黙祷を捧げることが出来ました。貸し切り列車であることの強みですね。

この駅前には、ポプラの木が津波に耐えて生い茂っていたのが、印象的でした。

大船渡市の陵里駅近くには、国内で最高の津波地点として38.2メートルの記念碑が車内から見る事が出来ました。この地震は、明治29年の明治三陸大地震で、特に綾里湾の奥では入り組んだ谷状の部分を上向きして、本州で観測された津波では最も高い上向き高を記録したようである。

翌日は、陸前高田市のOBである鈴木さんの案内で、奇跡の一本松のある記念館を見学しました。

最後の見学場所は、平成23年に世界遺産に登録された「中尊寺」でした。この地で、記憶が翻ったのは、今から50年以上前に高校の修学旅行のことで、大変懐かしい時間を過ごすことが出来ました。